

2026年度 青森競輪 開催リーフレット vol.3

もえよ! 縄文バンク



青森競輪イメージキャラクター
葵萌輪

開催案内

5/4月 5火 6水

FII ウィンチケツ ニッカン・コム杯

5/19火 20水 21木

GIII オッズパーク杯ミッドナイトG3

5/28木 29金 30土

FII 仲間と繋がるTIPSTAR杯

青森けいりん

オッズパーク杯 ミッドナイトGIII

2026 5/19火 20水 21木

S級シリーズ展望

小林泰正、鈴木玄人のいる関東勢が3日間の短期決戦を有利に進めよう。小林は今年2戦目の1月平記念を21①2着のオール連対の準V。上々の滑り出しで、続く松阪では優勝を飾った。その後コンディションを崩したものの、3月ウィナーズカップでも未勝利ながらもまの動きを見せていて、まくりを主体に展開に応じた立ち回りからV獲りに突き進む。一方の鈴木は昨年8月のオールスターがG1デビューだったが、いきなりの準決進出。今年2月の全日本選抜でも準決まで勝ち上がり存在感を示した。近況の鈴木の実績から、初めてのGIII優勝があってもおかしくはない。

一撃の魅力とその破壊力という点では、北津留翼に勝る選手はいない。1月の大宮では、単

騎での9番手まくりで久しぶりに記念制覇を遂げた。その後も別府、小倉と3場所連続で優勝。全日本選抜では落車に見舞われたが、復帰した3月豊橋記念が2連対なら心配はなさそうだ。

北日本勢は、山崎芳仁の底力が頼みの綱になる。近況、先行、まくりの決まり手こそ付いてはいないが、いざとなれば別線を仕留めるだけの機動力を持ち合わせている。山崎次第では、五日市誠、新山将史の地元勢にも、出番が巡ってくる。

3月の取手の完全Vが今年3度目の優勝だった青野将大も、7車立ての実績があり侮れない。岸田剛、黒瀬浩太郎も流れに乗れば、優勝争いに加われそうだ。

5月のファンサービス 視聴者プレゼント!

各開催においてオリジナルグッズが当たるキャンペーンを実施します。詳しくはLIVE放送またはホームページをご覧ください。

Facebook **もりんちゃん** いいね! あおいもりん
まってるよ! [検索](#)

葵萌輪 (あおいもりん) 公式 Facebook
<https://www.facebook.com/morin.aoi>

X **公式 エックス** いいね! あおいもりん
まってるよ! [検索](#)

ちびもりんちゃん@AKJ 青森競輪公式
https://twitter.com/aoi_morin

AKJ グッズショップ

新アイテム続々入荷!
欲しいモノが
きっと見つかる♪
今すぐアクセス!

サイクルシャツ アクリルフィギュア
マウスパッドぬいぐるみ



ギャンブル等依存症について

※車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。



山崎芳仁 福島・88期・S1 小林泰正 群馬・113期・S1 鈴木玄人 東京・117期・S1 北津留翼 福岡・90期・S1



熊谷 芽緯 (岩手・124期・L1)



坂口 楓華 (愛知・112期・L1)



塚本 瑠羽 (神奈川・119期・A1)



齊藤 英伊須 (青森・125期・A2)

A級戦 齊藤英の先行力軸

2班でも争覇級の先行力を秘めているのが地元の齊藤英伊須だ。まだ粗削りな部分もあるが、スピードに磨きをかけており、3月西武園で完全優勝。地元戦は好走歴があり、昨年6月に当地で特別昇班を達成。同7月の1、2班戦では決勝6着と奮闘した。今シリーズの北日本勢は今期2班も決め脚が好調な明田春喜、タテヨコ自在に動ける前川大輔、底力健在の高橋陽介ら充実のラインナップ。北日本勢でうまくまとまり、齊藤を盛り立てていくだろう。

トップスピードが強烈な塚本瑠羽も主役候補の一人。2月玉野では齊藤をまくって今期2度目の優勝を飾っている。ツポにはまると前団を一気にのみ込むパワーが魅力。差し脚が切れる岡本英之と南関タッグを組んで北日本勢に襲いかかる。

関東勢は追い込みにシフトチェンジしている今井聡が主力。ただラインの機動型は手薄で動向に注目したい。復調気配を見せている実績最上位の金子貴志は太田剛司や重倉高史を目標にして差し脚を伸ばしてくる。


ガールズ 実績リードの坂口楓

ガールズグランプリに4度出場しているトップレーサーの坂口楓華が中心になる。年明けから4場所連続優勝を飾り、実力をまざまざと見せつけていたが、病を患ったことで長期欠場。4月から復帰して万全の状態での出場することができれば主役の座は渡さないだろう。トップスピードの持続力は一歩リードしており、豪快な踏み込みで青森バンク初Vを射止める。

地元の熊谷芽緯は全国各地で優勝を重ねて急上昇中。前傾姿勢から繰り出す強烈ダッシュでライバルたちを一気に突き放し押し切るシーンが増えた。坂口とは2月名古屋決勝で対戦し、打鐘から主導権を握ったがゴール寸前でタイヤ差交わされ準Vとあと一歩まで迫った。今度こそその思いが強く、地元Vは譲らない。


着実に力を付けている磯村光舞は2強に割って入りたい。対戦メンバーと展開次第では逃げを打つこともあり攻め幅は多彩。追走もうまく好位キープなら浮上してくる。近況はマーク戦で結果を残している安東莉奈も狙い通りの位置が確保できれば要注意。

ガールズケイリンのムードメーカー。強気な位置取りが身上で、メンタルが強くしぶとく踏める。ガッツあふれる走りに期待だ。



板根 茜弥 (東京・110期・L1)

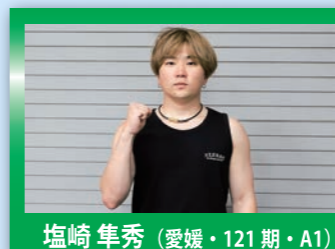
2月高知で今年初Vを飾るなど決勝の常連になり本格化の兆し。トップスピードが高く、首尾よく駆ければ決勝でも勝ち負け。



高野 信元 (愛知・125期・A2)



小笠原 一真 (青森・123期・A1)



塩崎 隼秀 (愛媛・121期・A1)



大塚 城 (静岡・127期・A2)



小笠 正義 (千葉・88期・A1)

A級戦 小笠正義の底力期待

青森競輪の開幕2戦目は全国各地から強豪レーサーが集結。中心に期待したのは昨年後期にS級で奮闘していた小笠正義だ。降級した今期は追い込み基本の競走で安定した戦績を残している。1月小田原では逃げた栗本尚宗の番手で巧みなけん制をこなしてから抜け出し優勝。番手有利な展開ならもちろん、多少不利な流れになってもコースさえ確保できれば鋭く伸びている。青森は23年8月にミッドナイトで優勝しておりバンクの相性も良好だ。今シリーズは3月に特別昇班した新鋭の大塚城と連係できそう。大塚はこのクラスでどこまで先行力が通用するか未知数だが、チャレンジレースでの勝ちっぷりが良くポテンシャルが高ただけに勝ち負けできるだろう。経験値が高い小笠は大家を好リードして勝機をたぐり寄せる。


121期の在り1位でスピードが光る塩崎隼秀もV候補の一人。逃げとまくりをバランス良く使い分けられることができるタイプで、戦法の幅が広い。3月小倉決勝では猿樂楓樹の先行を利用して優勝を飾っており、そつなく番手の競走もこなしている。青森は初登場になるが、高いトップスピードを生かして一発を狙ってくるだろう。ペテラン健在の小川圭二が食い下がり四国ワンツーを目指す。

地元の期待を一身に背負うのが徹底先行でパワーアップしている小笠原一真だ。昨年4月の地元戦は初日予選を逃げ切りでクリアしたが、準決勝で敗退。あれから1年で大きく成長しており、今度こそ決勝進出を決め、V争いを演じたい。タテ脚を秘める白石大輔が小笠原をバックアップする。

ガッツメーカーの佐藤健太はコースを探して虎視眈々と強襲を図る。3月静岡決勝は繰り上がりで優勝。久々の美酒に酔いしれ、ここから上昇ムードといきたい。原井剣也や上吹越俊一を目標にして差し脚を伸ばしてくる。


手堅いマークで先行選手からの信頼が厚い三谷政史が侮れない。番手の仕事に定評があり、的確なブロックで別線の巻き返しを阻んでいる。今期失格1回の足かせがあるだけに奮起したいところ。今期は12年ぶりのA級戦となる白岩大助は展開が鍵を握るか。同県の藤田竜矢と好連係なら直線でしぶとく突っ込んでくる。

昨年8月ミッドナイトで①③⑤着。バンク相性が良く鋭いタテ脚を伸ばしている。復調気配を見せており直線強襲に期待したい。



原田 泰志 (新潟・91期・A1)

昨年から差し脚が好調で白星を量産中。予選は安定して突破しており決め脚がさえている。勝ち上がり戦での格上撃破も可能だ。



山田 裕哉 (岐阜・98期・A1)

出場選手データ (2026年4月11日現在)

氏名	登録地	期別	直近4ヶ月成績
三住博昭	神奈川	61期	84.23
坂上忠克	石川	71期	84.87
中曾直彦	千葉	74期	83.76
金子貴志	愛知	75期	91.28
浦川尊明	茨城	80期	87.55
根本雄紀	茨城	80期	86.55
岡本英之	千葉	85期	92.66
荒木伸哉	静岡	87期	84.12
宮内善光	群馬	88期	88.00
高橋陽介	青森	89期	92.25
後藤彰仁	岐阜	92期	85.21
中川繁樹	京都	93期	84.40
泉谷直哉	兵庫	94期	85.89
重倉高史	富山	95期	87.95
太田剛司	愛知	97期	89.08
馬場和広	埼玉	98期	91.12
北川大五郎	大阪	103期	88.50
會澤龍	宮城	105期	86.33
前川大輔	福島	113期	90.66
今井聡	東京	113期	92.88
樋口開土	東京	113期	84.00
松坂侑亮	神奈川	115期	88.66
塚本瑠羽	神奈川	119期	93.80
佐藤謙士郎	埼玉	123期	82.57
吉村文隆	京都	70期	78.71
安藤宣明	神奈川	74期	80.50
矢内良和	群馬	75期	80.46
佐藤明	静岡	77期	83.00
平沼由充	福島	83期	89.54
女屋文伸	埼玉	83期	82.55
坂田学	兵庫	83期	82.43
明田春喜	北海道	89期	92.13
竹内優也	北海道	89期	83.24
細沼健治	埼玉	89期	81.47
田中勝仁	千葉	93期	83.03
岩崎大和	茨城	94期	79.86
中川拓也	群馬	94期	79.22
山本淳	神奈川	94期	78.41
伊藤拓人	静岡	94期	78.66
北村篤	岐阜	94期	82.26
金子浩貴	京都	95期	83.66
河上陽一	千葉	99期	80.79
三浦大輝	宮城	111期	76.90
伊塚大地	埼玉	111期	81.41
桜井大地	静岡	111期	78.61
鮫島康治	大阪	111期	83.74
渡邊直弥	静岡	113期	84.16
齊藤英伊須	青森	125期	92.13
高野信元	愛知	125期	90.33
島田優里	長崎	108期	47.21
溝口香奈	大分	108期	44.84
板根茜弥	東京	110期	50.83
鈴木彩夏	東京	110期	49.94
坂口楓華	愛知	112期	57.00
清水彩那	静岡	116期	51.50
川路通香	埼玉	120期	46.66
安東莉奈	大分	122期	52.80
熊谷芽緯	岩手	124期	55.33
戸邊香奈美	茨城	124期	48.77
吉村美有紀	愛媛	124期	47.50
磯村光舞	山口	126期	51.86
伊藤木々音	岐阜	128期	45.36

出場選手データ (2026年4月11日現在)

氏名	登録地	期別	直近4ヶ月成績
小川圭二	徳島	68期	86.22
藤野一良	大阪	77期	79.04
加藤寛治	愛知	83期	86.41
白岩大助	埼玉	84期	90.15
白石大輔	福島	88期	85.88
藤田竜矢	埼玉	88期	87.20
小笠正義	千葉	88期	93.04
櫻井文	静岡	89期	87.87
竹澤浩司	富山	90期	89.18
原田泰志	新潟	91期	86.60
梶原恵介	大分	92期	89.03
三谷政史	奈良	93期	91.45
北野良米	茨城	95期	84.33
大瀬戸源一郎	広島	95期	85.26
山田裕哉	岐阜	98期	87.66
丹波孝佑	大阪	98期	86.03
上吹越俊一	鹿児島	99期	87.44
佐藤健太	福岡	101期	92.25
多田晃紀	岡山	103期	90.04
寺沼伊織	東京	115期	86.00
原井剣也	福岡	119期	86.45
添田龍児	神奈川	121期	86.76
塩崎隼秀	愛媛	121期	93.47
小笠原一真	青森	123期	90.66
佐藤政利	新潟	91期	82.91
朝日勇	愛知	74期	84.66
太田真一	埼玉	75期	78.72
赤井学	千葉	77期	81.95
木村貴宏	茨城	80期	86.13
小宮剛	東京	82期	76.18
勝俣亮	神奈川	82期	82.14
佐々木孝司	青森	84期	80.91
藤原清隆	静岡	87期	81.47
大崎智久	青森	89期	81.20
芳野匠	愛媛	93期	85.75
小谷文康	広島	94期	79.47
片折勇輝	福岡	95期	82.64
奥出良	石川	109期	85.54
小岩哲也	大分	101期	85.27
本馬謙	福島	109期	79.16
吉田篤史	奈良	109期	86.50
尾崎悠生	埼玉	113期	85.60
田上晃也	岡山	115期	88.40
松本一志	宮崎	117期	79.83
中込健太	秋田	119期	80.20
村瀬大和	岐阜	119期	81.61
中島淳	埼玉	125期	87.87
大塚城	静岡	127期	79.28